

広報いちのへ
Ichinohe

■編集・発行 一戸町・一戸町広報編集委員会
〒028-5311 岩手県二戸郡一戸町高善寺字大川鉢24-9 ☎ 0195-33-2111

■ メール ichinohe@town.ichinohe.iwate.jp
 ■ ホームページ <http://www.town.ichinohe.iwate.jp>

交通指導隊に辞令交付
四月四日、交通指導隊に辞令が交付されました。
今年は、新たに一人が隊員に加わり、十四人が町内での交通安全を指導にあたります。

交通指導隊に辞令交付

災害時に自分たちにできる
対応を一緒に考える

いのへの
地産
地笑

野田村の東日本大震災以後の状況と、野田村の食生活改善推進員が避難所で炊き出しを行ったようすなどが紹介され、発表に聞き入る参加者たち

野田村食改協を招いて
一戸町食改協との交流会

野田村食生活改善推進員協議会（貳又^{にまた}ゑな子会長）と一戸町食生活改善推進協議会（柿木洋子会長）が三月十四日、総合保健福祉センターで交流会を開催しました。

材を使った御所野縄文弁当を作り、昼食の会場準備をしました。

昼食時間となり、野田村のメンバーが合流し、和やかにお弁当を食べながら情報交換

交流会を開催しました。
交流会に先立ち、野田村食

材を使った御所野縄文弁当を作り、昼食の会場準備をしました。

昼食時間となり、野田村のメンバーが合流し、和やかにお弁当を食べながら情報交換をしました。

生活改善推進員協議会のメンバーらは、世界遺産登録を目指す御所野縄文公園を見学。その間に、一戸町食生活改善推進協議会のメンバーらは、雑穀やワラビなど一戸町の食

その後行われた交流会では、野田村の小野寺ちとせ理事と野田村職員の下畑優子さんが震災発生時と避難所での食生活支援のようすなどを発表しました。

避難者からは

「日ごろ食べ慣れている『煮しめ』や『漬物』が食べたい」と。

野田村食生活改善推進員協議会
小野寺ちとせ理事

私は、地震発生後に発令された大津波警報で、避難所に避難し、それから避難所での生活が始まりました。

避難所では、自衛隊などがパンやカップラーメンを提供してくれましたが、野菜などが不足していました。そのため、推進員が協力し炊き出しを始めました。避難している人々からの「日ごろ食べ慣れている『煮しめ』や『漬物』が食べたい」との声に応えて提供し、大変喜ばれました。

日ごろの生活でも避難生活でも、「食」は子どもから大人まで大切なものだと思わせて感じる機会となりました。

編集後記

新年度を迎え、新たに学校や職場などでスタートを切った皆さんは新生活に慣れましたか？また、一戸町に新たに引っ越してこられた皆さんにとって初めての広報いちのへでしょうか？▼さて、今月号では、町長と教育委員長の施政方針と町の予算を掲載しました。今年度、一戸町が新たに何を、何に向かっていくのか。変化の激しい時代の中で、一戸らしい政策を皆さんとともに築き上げていかなければなりません。今後もご協力を願います。

▼広報いちのへ、いつもどこか違うとお気付きになりましたか？実は、四月からカラーページが増えました。契約内容を見直し、印刷経費を削減しながらも、町の皆さんに楽しみにしてもらえる誌面を作りたいと思います。町の皆さんの広報いちのへですので、今後とも取材の際には協力をよろしくお願い致します。

まちづくり課 小寺 学

●広報いちのへ 4月号の印刷経費は1部32.6円です



広報いちのへは、環境に配慮し、植物油インキとFSC森林認証紙を使用しています。

町民主体のまちづくり

稲葉暉町長 施政方針

地域の資源に目を向け、それに磨きをかけることがこれからのまちづくりで重要となってくるものと考えます。また、絆を大切にし、ともに被災地を支援した年でもありました。絆を固め、身の回りの資源を上手に活用し、無理のない形で運営、継続していくこと、これはまさに縄文人が得意であったことであります。「御所野遺跡を世界文化遺産に」との全町民の思いと重ね合わせ、産業振興、福祉、生活環境など、あらゆる分野において、全町民が同じ認識を持ち、協力して進んでいくよう、全力で町政運営に当たります。

- ・地域のお互いに力を合わせられる関係をつくる。
- ・地域の支え合いによる福祉を目指すため、地域福祉計画の策定に取り組む。
- ・高齢者冬期生活支援施設（あったかホーム）は、利用者の動向を踏まえながら、事業の充実に努める。
- ・在宅で介護している家族に対し、現金給付などの支援を継続する。
- ・地域包括支援センターは、高齢者のさまざまな不安に対応する総合相談窓口として周知に努める。
- 障がい者福祉
 - ・障がい者の高齢化に対する対応を検討する。
- ・「成年後見制度利用支援事業」の普及拡大に、継続して取り組む。
- 国民健康保険事業
 - ・政府の具体的な制度設計の動きを注視しつつ、最善の努力を続ける。
- ごみ処理
 - ・生ごみの分別回収について、対象地域を拡大する。
 - ・生ごみの発酵処理後の活用方法も見出す。
 - ・プラスチック類のボイラー燃料などへの活用を検討し、分別回収の実施を検討する。
 - ・衣類は、リサイクルショップと連携し、拠点回収などに取り組む。
 - ・職員の出勤講座を、地域づくり事業などと連携した取り組みとする。
- 【町内で行われる水道事業】
 - ・浄化槽整備事業
 - ・浄化槽整備区域全般に普及促進を図る。
 - 水道事業
 - ・奥中山上水道で、高度浄水処理施設整備事業へ着手し、平成二十五年度の供用開始を目指す。
 - ・小繋地区への上水道の敷設ルートを具体的に検討する。
 - 生活基盤の整備
- 【町内で行われる国道事業】
 - ・国道四号は、中山大塚、中山稲荷林地区の法面工事、擁壁補修工事を予定。
 - 【町内で行われる県道事業】
 - ・一戸浄法寺線・中里地区の地元説明会を開催し、道路計画について地元と合意形成を進める。
 - ・葛巻日影線の歩道整備は、今年度から工事に着手予定。
 - ・県道維持工事として、一戸葛巻線、二戸一戸線の舗装補修、青刈橋、双畑橋、摺糠橋の橋梁補修を予定。
 - 【町道事業】
 - ・橋梁長寿命化計画を策定する。

3月の町議会定例会で、町長と教育委員長の施政方針演説が行われました。稲葉町長は冒頭で「町長就任に当たってお示した『心に響く社会保障』『雇用拡大できる産業振興』『未来をつくる子育て教育支援』『資源化によるごみゼロ地域社会』の4つを柱としたマニフェストの確実な実施はもとより、少子高齢化、人口減少、それに伴う経済の縮小など、今までのやり方では対応できない大きなうねりの中にあって、強い意志と具体的な行動で道を切り開き、これまで以上に、町勢進展のため全力を傾注いたしますので、地域の主人公である町民各位のより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます」と述べました。今年度の主な施策、事業をお知らせします。さあ、今年のまちづくりが始まります。

- 地域づくり
 - ・町内会や自主防災組織などの体制強化、設立を支援する。
 - ・地域担当職員の資質の向上を図り役割を強化する。
- 再生可能エネルギーの導入
 - ・住宅用太陽光発電システム導入促進補助金を創設する。
 - ・風力発電施設、メガソーラーは、計画の具体化を推進する。
 - ・大志田ダム小水力発電施設の拡充の可能性について、国や土地改良区と協議する。
- 行財政改革
 - ・時代の変化に対応した行財政運営をする。
 - ・保育料の実質無料化は、国の動向にに応じて対応する。
- 健康対策
 - ・各種検診の受診率の向上を目指し、生活習慣病予防対策の活動を強化する。
 - ・新たに、三歳児歯科健診（誕生月健診）を追加する。
 - ・幼児教室、育児支援教室などを開催し、安心して子育てができる環境づくりに取り組む。

- 高年齢者福祉
 - ・介護予防教室の拡充を図り「一戸町高齢者等見守りネットワーク」を基盤として、町民、福祉団体、行政
- 医師確保
 - ・ベトナムからの医師資格者、留学生の招へい活動を町国際交流協会の協力も得て行い、留学生の招へいについてめどが立ちました。また、医師資格者にも相手国からの報告を待ち、受入準備を着実に行う。
 - ・開業医の誘致の可能性を探る。

Contents_ 目次

2 - 7

〔特集〕まちづくり2012 town planning

8 - 9

町からのお知らせ
権利擁護市民セミナーを開催
ナチュラルエッセイ意見交換会
一戸町自主防災講演会を開催
奥中山高原ブランド認定審査会

10 - 11

まちの話題
ごみゼロ・3R推進ポスター表彰
小鳥谷中学校で防災講話
奥中山地区農業研修生とバスケット交流
1人暮らし老人宅配弁当
町消防団が特別表彰の「まとい」を受賞
スマイルタウンづくり事業報告会

12 - 13

元気に活動中。一緒に活動しませんか？
読書会
短歌・俳句 一戸町文化協会短歌・俳句部会
1歳になったよ！
いちのへ人 野中タカさん

14 - 15

たより
運動公園 / 総合保健福祉センター
図書館 / 御所野縄文公園

16 - 17

たより
二戸消防署 / 一戸病院
一戸交番 / 水環境課
平成24年度
一戸町職員人事異動のお知らせ

18 - 19

一戸町国際交流協会からのお知らせ
税務町民課からのお知らせ

20 - 23

まちのお知らせひろば
広報クイズ

24

「食」災害時に自分たちにできる対応を一緒に考える

「地産地消」

今月の表紙



(4月4日、交通指導隊辞令交付式)

・女鹿線改良工事、一戸街道線の測量詳細設計と用地取得を進める。

・町道の維持工事は、切削材を利用した道路整備や排水路などの改修を予定。

・昨年発生した災害復旧工事は、実施設計後、随時工事を発注する。

・野田地区の法面崩壊地区は、県単急傾斜地崩壊対策事業により工事に着手する。

・川又地区の馬淵川護岸は、昨年の浸水を受け、計画を見直し、その後事業を予定。

・「いちのへ花の丘公園」は、今年度の完成へ向け、やすらぎ広場と駐車場などを整備する。

・町有大越田住宅キッズあいは、引き続き入居者募集の情報を発信し、入居促進を図る。

・木造住宅耐震診断士派遣事業や耐震改修工事助成事業を継続実施する。

産業振興分野

・一戸高校の新卒者などを研修生として受け入れ、農業研修を通じて就農に導く役割を果たす組織を設立し、担い手の育成を図る。

・国の事業を活用し、町の農業を担う人材を育成し、地域農業の活性化を図る。

・町単独補助事業の新規就農者経営確立支援事業などにより、新規就農者の確保、育成を推進する。

・集落営農は、小友地区を重点地区とし、先進的な取り組みを行っている地域を視察研修し、組織形態や営農方法などを学び、高度な取り組みを行うよう支援する。

・小滝、中里、月舘、出ル町地域は、県営農地整備事業により整備する予定の農地において、農作業の効率化や機械などの設備投資経費の削減を図られるよう支援する。

・中山間地域等直接支払制度は、新たに小友地区での協定締結を予定。農道や水路の補修、共同利用機械の導入など効果的な事業実施を推進する。

・水田農業は、農業者戸別所得補償制度の産地資金などを活用し、高収益で、地域の気象条件に適している「リンドウ」などへの転換を支援し、生産振興や担い手の確保、育成につなげる。

畜産分野

・肉用牛は、町営牧野の利用促進を図り、農家の負担軽減による安定経営を推進する。

・酪農は、安全で質の高い生乳生産を支援し、経営の安定化を図り、奥中山高原のブランド化を推進する。

・宇別および高森の町営牧野の運営は、指定管理者制度による管理運営を継続し、効率的な運営を図る。

・高森牧野に今年度、試験的に草地

「学校教育の充実」

・社会の変化に対しても対応できる児童・生徒の育成に努める。

・諸研修会、学力向上推進委員会などの教育活動を展開する。

・学力向上支援員は、算数・国語、数学、英語を主として小・中三校に配置する。

・学習補助員を配置し、最低限の学力を保証し、夢や希望に沿った確かな学力の定着を図る。

・就学前教育では、幼稚園、保育所、小学校の保護者、保育士、教師の連携を図る。

小・中学校の教育

・知育の部分は、「学びフェスト」（学校マニフェスト）の取り組みを広げ、目標達成型の学校経営の一層の推進を図る。

・ALTによる英語教育は、小学校五・六年生で「外国語活動」が必修化されたことも踏まえ展開する。

・中学校ではALTと英語教員の連携のもと、コミュニケーション能力の基礎を培う。

・中学生の国際交流海外派遣事業は、軽米町と合同で実施する。

・特別支援教育は、学級補助員を配置し、子どもたちの状況をとらえ、きめ細かな支援を行う。

・徳育は、読書活動とあいさつ運動を重点に豊かな心の醸成に努める。

の一部を更新し、結果が良好であれば年次計画を立て草地を整備し、乾草飼料の収穫を増やし畜産農家へ良好な牧草を提供する。

・トラクターを新規に一式購入し、良好な放牧地の維持を図る。

・森林整備事業を活用した除間伐などを実施し、森林の整備を進める。

・森林基幹道「浪打・姉帯線」、「安孫・平糠線」（旧緑資源幹線林道葛巻・田子線）の事業促進を要請する。

・木質バイオマスは、一戸町バイオマスタウン構想に基づきチップボイラー、ペレットストーブの導入を進め、町営施設などへのチップボイラーなどの導入を考える。

・国営事業が完了し、県営畑地帯総合整備事業は、今年度には東奥中山地区が完了予定。

・一戸町商工会が取り組む中心市街地での各種地域活性化の取り組みに對して支援する。

・住宅リフォーム支援事業を行う。

・国の「緊急雇用創出事業」を使い、雇用機会の拡大や人材の育成を図る。

・一戸インター工業団地などへの企業誘致に向け、首都圏の企業へのPRに努める。

・盛岡東京電波株式会社一戸工場で増設した酸化亜鉛単結晶生産育成炉

の本格稼働が可能となるよう、会社との情報交換を図る。

・新規起業、産業起こしに対しては、コミュニティビジネス支援事業の活用促進を図る。

・新たな産業につながる企業の人材育成支援や新技術の開発などについて力を注ぐ。

・観光は、世界遺産登録を目指す「御所野遺跡」を核に町内観光施設の連携による誘客を図る。

・「いわてデスティネーションキャンペーン」では、町内の観光資源を積極的にPRし、観光に関わる人材育成についても併せて進める。

・奥中山高原施設は、ジェラート店「雪あかり」を新たな集客施設として期待するとともに、組織的な改革を行い、奥中山高原エリアの魅力を高める。

・特産品振興は、町のアンテナショップ「Natural Essay」を拠点とし、野菜など生鮮食品、加工食品、鳥越竹細工などの工芸品など町の特産品の素晴らしさを全国に発信する。

・食品加工の専門家を「食品加工支援アドバイザー」として委嘱し、産直の加工部会、食品事業者などとの連携による、食品加工分野での取り組みを推進し、新たな商品の開発につながるよう支援する。

・学校参観日「みんなで学校へ行こう」を引き続き実施する。

・「学校だより」を各地域に回覧し、学校経営について地域住民の理解と協力を得る。

「生涯学習の推進」

・PTAと連携した指導者研修の実施など、支援体制づくりを進める。

・放課後子ども教室」で体験・交流の活発化し、「学校支援地域本部事業」における地域ボランティア活動の掘り起こす。

「地域文化の振興」

・縄文時代や御所野遺跡、世界遺産についての理解を深める機会を提供し、魅力ある町づくりを進めていく。

・郷土芸能の国指定を進める。

・「一戸町文化遺産活用計画」策定を進める。

・芸術文化活動は、町民がより優れた芸術鑑賞に接する機会を提供する。

・町立図書館は、レファレンス活動や町民の関心が高い内容についての企画展示も開催する。

「スポーツ振興」

・岩手国体で、なぎなた競技の会場地として内定。開催に向け準備を進める。

・なぎなた教室の継続開催、指導者の養成、競技力の向上に努める。

・武道場の建設は、町長部局と連携を取り、今年度中に用地の確保と補助事業の導入にめどを付ける。



下田和夫教育委員長 施政方針

近年、社会における少子高齢化、産業・就業構造の変化、国際化などに伴い、教育を取り巻く環境や状況が大きく変化している中、子どもの学力、基本的な生活習慣、不登校、いじめ、規範意識、家庭や地域の教育力の低下など解決すべき多くの課題が生じてきています。このようなことから、学校教育、社会教育両面において教育の果たす役割は極めて重要であると認識しており、教育行政施策については、毎年その内容について点検および評価を行い、本町教育の現状を十分見極め、創意工夫を凝らしながら教育行政の一層の推進に努め、一戸を担う人づくりに全力を尽くします。

まちの予算をお知らせ

平成 24 年度、先に示した稲葉町長と下田教育委員長の施政方針を着実に実行していくため、町では、下記に示したとおりの予算を編成しました。
安全、安心して暮らせる町を目指し、皆さんとともに新たなチャレンジが始まります。

平成二十四年度、一般会計の歳入歳出予算が、七十三億三千四百万円となり、昨年度と比較して3.4%増となっております。

歳入は、町の自主財源である町税、および依存財源の多くを占める地方交付税について、前年度程度の額を見込んでいます。また、歳出の増に対応するため、財政調整基金の繰入を行います。

歳出は、新規事業で事業費が多額なものがありません。そこで、その他の事業について、緊急性や費用対効果などを考慮して優先度の高いものを予算計上しています。

町財政の健全化の観点からみてみますと、今年度一般会計予算における町債が、前年度の倍程度となつていますが、借り入れた額の約75%が後に地方交付税として交付されるものとなっていることや、町債全体の総額は順調に減少していることから、今後の財政負担への影響は小さいものと考えられます。

また、今年度一部取り崩すものの財政調整基金をはじめとした基金への積立てが進んでいることも含めて今後も健全化基調が保たれた財政運営を続けることが可能と考えられます。

◎平成 24 年度の主な事業

事業名	金額	前年度比		
地方バス運行費補助金	2,494 万円	▲ 411 万円	▲ 14.1%	総務費
デマンド交通事業	2,500 万円	-	-	
住宅用太陽光発電システム導入促進費補助金	90 万円	新規事業		
障害者自立支援給付費	3 億 8,000 万円	▲ 400 万円	▲ 1.0%	民生費
私立保育所運営委託費	1 億 1,850 万円	515 万円	4.5%	
子ども手当給付費	1 億 8,952 万円	▲ 1,000 万円	▲ 5.0%	
各種医療費給付費	6,928 万円	▲ 404 万円	▲ 5.5%	衛生費
各種検診委託費	3,782 万円	▲ 135 万円	▲ 3.4%	
ごみ処理費	1 億 2,036 万円	▲ 819 万円	▲ 6.4%	
地域生ごみ処理実証事業	616 万円	新規事業		農林費
いわて希望農業確立総合支援事業費補助金（農振・畜産）	4,034 万円	▲ 1,957 万円	▲ 32.7%	
鳥海地区ほ場整備費	2,970 万円	2,550 万円	607.1%	
国営馬淵川沿岸土地改良事業（二期）負担金	5 億 9,176 万円	新規事業		商工費
アンテナショップ管理費	1,800 万円	400 万円	28.6%	
中小企業振興資金融資制度	5,722 万円	▲ 76 万円	▲ 1.3%	
住宅リフォーム支援事業	800 万円	-	-	土木費
町道整備事業	9,450 万円	2,570 万円	37.4%	
いちのへ花の丘公園整備費	1,379 万円	1,190 万円	629.6%	
自主防災組織育成事業費補助金	350 万円	新規事業		消防費
御所野縄文博物館展示改修事業	2,789 万円	新規事業		教育費
世界遺産登録推進費	757 万円	589 万円	350.6%	
公共土木災害復旧工事費	1 億 1,500 万円	5,500 万円	91.7%	災害復旧費

◎会計一覧

会計名		24 年度予算額	23 年度予算額	対前年度	
一般会計		73 億 3,400 万円	70 億 9,100 万円	2 億 4,300 万円	3.4%
特別会計	国民健康保険事業	20 億 5,498 万円	20 億 0,793 万円	4,705 万円	2.3%
	索道事業	3,850 万円	6,212 万円	▲ 2,362 万円	▲ 38.0%
	土地取得	1,036 万円	362 万円	674 万円	186.2%
	工業団地事業	645 万円	620 万円	25 万円	4.0%
	農業集落排水事業	8,377 万円	8,077 万円	300 万円	3.7%
	下水道事業	4 億 4,397 万円	5 億 0,250 万円	▲ 5,853 万円	▲ 11.6%
	個別生活排水処理事業	4,535 万円	3,679 万円	856 万円	23.3%
	後期高齢者医療	1 億 3,088 万円	1 億 3,142 万円	▲ 54 万円	▲ 0.4%
水道事業会計（支出）		4 億 5,732 万円	4 億 9,538 万円	▲ 3,806 万円	▲ 7.7%
合計		106 億 0,558 万円	104 億 1,773 万円	1 億 8,785 万円	1.8%

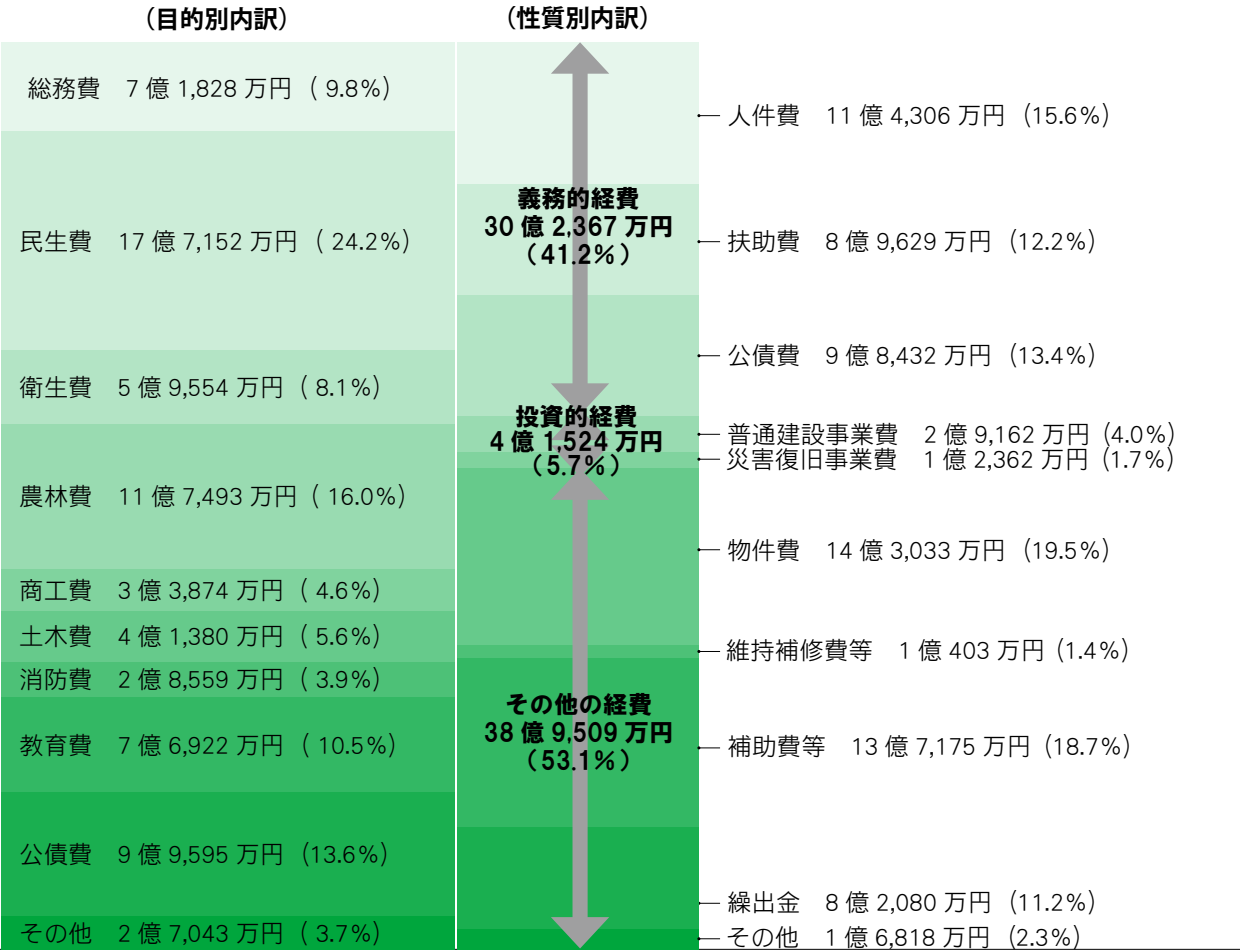
歳出の構成比は、物件費（臨時職員賃金、業務委託費、物品の購入費など）が 19.5%で最も多く、次いで補助費等（各種団体への補助金など）18.7%、そして人件費が 15.6%の順となります。

普通建設事業費は 2 億 9,162 万円で、全体の 4.0%となっています。補助費等が 6 億 0,366 万円増えていますが、これは今年度、国営馬淵川沿岸土地改良事業（2 期）負担金 5 億 9,176 万円の支出があることが大きく影響するものです。

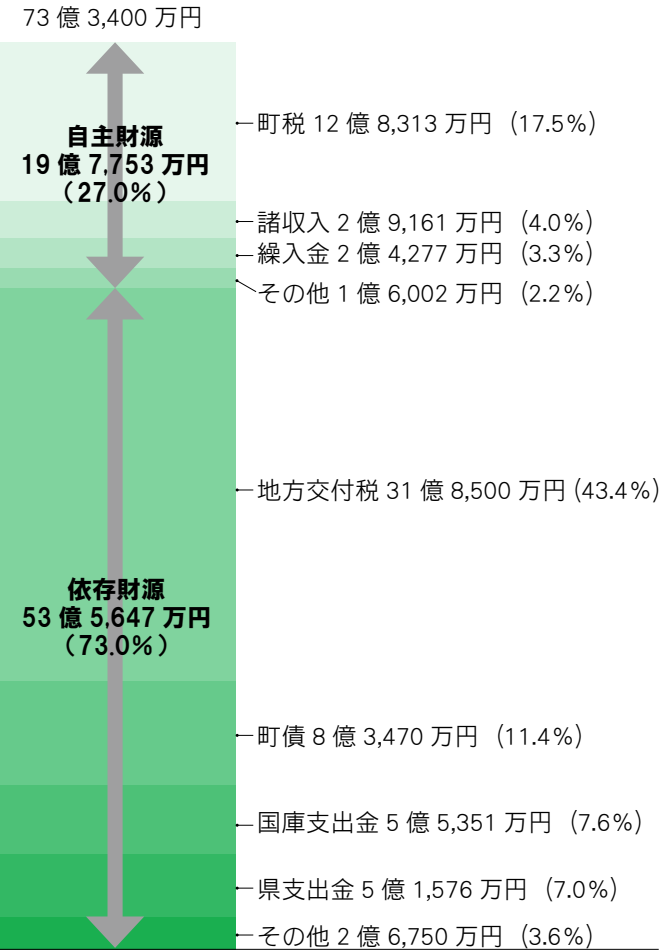
歳入を構成比順で見ますと、地方交付税が 43.4%、伸び率は 0.3%の増となっており、地方交付税から振り替わる臨時財政対策債を合わせた比較で 0.6%の増となっています。次いで、町税の構成比 17.5%、町債が構成比 11.4%、国庫支出金が 7.6%となっています。

自主財源では繰入金が大幅に増えましたが、依存財源で町債が大幅に増えたことなどから両財源の構成比は昨年度とあまり変わっていません。

歳出



歳入



成年後見制度を 分かりやすく演劇で

権利擁護市民セミナーを開催

平成二十三年度二戸・久慈地区権利擁護市民セミナー（カシオペア権利擁護等事業推進委員会など主催）が二月二十九日、二戸市民文化会館で開かれました。

権利擁護とは、自己の権利を表明することが困難な寝たきりの高齢者や、認知症の高齢者、障がい者の権利やニーズ表明を支援し代替することです。

セミナーでは、講演会と演劇が行われました。講演会では、「成年後見センターよりおか」の設立と成年後見の現状を石橋乙秀理事長



成年後見制度の必要性を説く
石橋理事長



包括支援センター職員などによる演劇。会場は、笑いに包まれていました

が話しました。

演劇は、一戸町包括支援センター職員などが出演。演劇で知る成年後見制度「大好きな町で暮らしたい」友蔵さんの一日「パート二」が披露され、参加者は楽しみながら、権利擁護を学んでいました。

地域の安全を 自分たちの手で守ろう

一戸町自主防災講演会を開催

平成二十三年度一戸町自主防災講演会が二月二十五日、コミュニティセンターで開催されました。

講演会には、およそ六十人が集まり、「自主防災力向上」守られる暮らしから、守る暮らしへ」と題して一関市藤沢町第二十四自治会の佐藤幸生防災リーダーが講演しました。



写真を交えながら自主防災組織の活動の様子を話す佐藤リーダー



一関市藤沢町第24自治会の活動の様子に真剣に聞き入る参加者たち

し老人などの要援護者のリストを作っています」と自身の自治会の活動を紹介しました。町では、平成二十四年度から自主防災組織を設立するために必要な費用を補助金として交付します。

アンテナショップの機能を発揮 今求められている商品とは

ナチュラルエッセイ意見交換会

神奈川県横浜市に町が開設しているアンテナショップ「ナチュラル エッセイ」の久保均代表と、町内の生産者などとの意見交換会が二月二十四日、役場で行われました。

意見交換会では、平成二十二年一月のアンテナショップのオープンから来客数や販売額が着実に増加している様子などが説明されました。久保代表からは商品販売するなかで、困っていることなどが生産者へ伝えられ、生産者からは「どのような商品が好まれているのか」や「原発事故の風評被害はあるのか」など熱心な意見交換が行われました。



ナチュラル・エッセイの様子を話す久保代表



アンテナショップでの商品の販売状況が生産者に説明されました

久保代表は「生産者の皆さんも、ぜひアンテナショップへ来てください。消費者へ自分が作っている商品の良さを直接アピールすることが、販売増加につながります」と話していました。

町を代表できる商品を認定 一戸町の価値を高める

奥中山高原ブランド認定審査会

奥中山高原ブランド品認定審査会が二月二十四日、役場で開かれました。

奥中山高原ブランド品とは、その品質や意匠などが優れている一戸町を代表できる民芸品や食料品などの産品を認証するものです。

今年は、昨年八月からサラダボ



ナチュラル・エッセイでも大人気商品となっているサラダボウル・こずやの「煙のごちそういちいのへピクルス」。産直でも販売されている色鮮やかなピクルスを皆さんもご賞味ください



「煙のごちそう いちいのへピクルス」の開発経緯や今後の展開などを話す

ウル・こずやが製造販売を始めた「煙のごちそう いちいのへピクルス」を新規ブランド品として登録するか否かの審査が行われました。審査委員からは「体に良さそうで、野菜嫌いの子どもでも食べられるのではないか」や「彩りがきれいで見た目も美味しそう」などの意見が出され、新たな奥中山高原ブランド品として認定されることとなりました。



一つひとつ丁寧におかずを詰める食改の会員たち

塩 1人暮らし老人宅配弁当 分やカロリー控えめ

社会福祉協議会が主催するふれあい弁当が3月9日、一戸地区の1人暮らしのお年寄りへ届けられました。

このふれあい弁当は、食生活改善推進協議会が調理を担当。一戸地区民生委員協議会が各家庭へ届けています。

当日は、朝早くから食生活改善推進協議会の会員が、町民文化センターに集合、塩分とカロリーを控え、食べやすい大きさにそろえられた野菜などを、一つひとつ丁寧に調理。テーブルに200個を超える弁当箱が並べられ、盛り付けました。

でき上がった弁当を、早速、一戸地区民生委員がお年寄りの家を訪ね、一声掛けながら届けていました。

日 町消防団が特別表彰の「まとい」を受賞 日々の活動が認められ

第64回日本消防協会定例表彰式が2月23日、東京都で挙行され、一戸町消防団（坂戸明夫団長）が特別表彰「まとい」を受賞しました。

表彰式には、町から坂戸団長など22人が出席。「日消」と記された金色に輝く「まとい」が授与されました。

坂戸団長らは2月29日に、稲葉町長へ受賞を報告しました。

坂戸団長は「消防団の日々の活動が認められ、今回の受賞につながったと思います。これからも防火、災害予防に努め、安心、安全に暮らせるよう活動していきたいです」と話しました。



受賞した「まとい」を囲み記念撮影

地 スマイルタウンづくり事業報告会 地域の課題や問題を解決

スマイルタウンづくり事業報告会が2月25日、コミュニティセンターで開かれました。

スマイルタウンづくり事業の対象は、町内の地域振興会や自治公民館などの23団体。それぞれの団体が、地域住民と協力して、地域の課題や問題などを解決するものです。

町では、それらの活動に対して、20万円を上限に総事業費の3分の2を補助金として交付しています。

平成23年度は、小鳥谷地域振興会、小友地区公民館、中里振興会、楢山地区活性化推進会、鳥越地区活性化推進協議会が事業を報告。バスで研修に出掛けたり、地区のお祭りに活用した事業などが紹介されました。



地域のイベントや活動を写真などを披露しながら紹介する参加者



賞状を手にする地蔵堂さんと工藤校長

身 小鳥谷中学校で防災講話 身近な災害を考える

小鳥谷中学校（畠山博明校長、生徒48人）は3月6日、防災講演会を開催しました。

全校生徒が参加した行われた講演会は、東日本大震災から1年を前に、震災の状況を知り、身近でも起こりうる災害について考えることを目的にしました。

講師を務めた二戸消防署一戸分署の荒谷雄幸副分署長は、二戸消防署が野田村で行方不明者の捜索活動の様子などを紹介し、「災害時に自らの命は自らが守る。そのためにも日ごろからの備えが大切です」と話していました。

生徒を代表して瀧澤凜さん（2年）は「今日学んだ防災意識を身に付けます」と決意しました。

ごみゼロ・3R推進ポスター表彰 みを捨てないように

平成23年度いわてごみゼロ・3R推進ポスターコンクールの表彰式が3月12日、盛岡市で開かれました。このコンクールで、小学校高学年の部の優秀賞に一戸南小学校の地蔵堂優真さん（6年）が選ばれました。

このコンクールは、ごみのポイ捨てや不法投棄を無くし、3R（リデュース・リユース・リサイクル）による資源循環型の暮らしの実践を呼び掛けることを目的しているものです。

地蔵堂さんは「地球が汚れていかにように、ごみを捨てないことを呼び掛けるポスターを描きました。何気ない気持ちでごみを捨てないようにしてほしいですね」と呼び掛けます。



災害時の対応について話し合う中学生たち

友 奥中山地区農業研修生とバスケット交流 だちも増え、楽しく

昨年の12月から毎週土曜日の夜、奥中山小学校の体育館で奥中山地区に農業研修に来ているフィリピンの研修生と地域の住民がバスケットボールの交流会を行っています。

この交流会は、奥中山高原クラブの坂下嘉美さんが企画。研修生や地域の人たちに声を掛けて実現しました。

研修生のブライアンさんは「フィリピンでは、多くの国民がバスケットボールを楽しんでいます。研修先でもバスケットボールができ、とても楽しいです。奥中山地区の人たちは、優しく、バスケットボールを通して友だちが増えました」と笑顔で話しました。



気温がマイナスの体育館。白熱した試合で、汗が滴り落ちていました

1歳の赤ちゃんの写真を募集しています!!
ご希望の方は4月25日までに広報担当へご連絡願います。

♪ 1歳になったよ♪



坂本 圭汰くん
(中山大畑)
平成22年10月27日生まれ
お父さん 亮太さん
お母さん 由美子さん
お父さん、お母さんから一言
元気いっぱい
大きくなってね♥

松田 有生くん
(一戸大越田)
平成22年11月4日生まれ
お父さん 直樹さん
お母さん 奈緒子さん
お父さん、お母さんから一言
たくましく育って♥



稲森 慶仁くん
(宇別武大敷)
平成22年11月7日生まれ
お父さん 剛さん
お母さん 夏絵さん
お父さん、お母さんから一言
いっぱい食べて、
遊んで、元気に育ってね♥

女鹿 辰徳くん
(一戸向町)
平成22年11月4日生まれ
お父さん 昭裕さん
お母さん マリッサさん
お父さん、お母さんから一言
お姉ちゃんと仲良く
元気に育ってね♥



岡崎 大智くん
(中山軽井沢)
平成22年11月14日生まれ
お父さん 俊彦さん
お母さん 智香子さん
お父さん、お母さんから一言
元気にすくすく
大きくなってね♥

諏訪 想来ちゃん
(西法寺稲荷)
平成22年12月1日生まれ
お父さん 貢さん
お母さん 千秋さん
お父さん、お母さんから一言
明るく元気に育ってね♥



いちのへ人

野中タカさん (のなか・たか) 小鳥谷地区 81歳



夫婦二人三脚で
竹細工に取り組む

平成二十三年度第五十三
回日本民芸公募展で優秀賞
を受賞した野中タカさん。

竹細工との出会いは、タ
カさんが、小学三年生のこ
ろ。「親が編んでいた竹細工
を見ていました。教わると
いうことではなく、見て覚
えるということでした。」

結婚し、小鳥谷に移り住
んだタカさん。一時は竹細
工の製作を休んでしまし
た。子育てが一段落し、製
作を再開。「全国各地に竹細
工を売り歩きもしました」
と振り返ります。

竹細工の材料は、夫の博
さんと一緒に町内や秋田県
さんと一緒に町内や秋田県

にまで採りに出掛けま
す。『ずっとタカの弟子なんだ
よ』と微笑む博さん。二人
三脚でこれまで数々の賞を
受賞しました。平成十八年
には、今回受賞した日本民
芸公募展で最高賞にあたる
経済産業大臣賞も受賞。タ
カさんの竹細工は全国がそ
の価値を認めています。

『タカさん、次の目標は何
ですか?』との問い掛けに「生
きているうちに岩手県の名
工になりたいですね」とタ
カさんと博さんは顔を見合
わせて微笑みます。



元気に活動中。一緒に活動しませんか?

■読書会

活動場所など：町民文化センター 第4火曜日 18:30~



◎読書会 久保 征紀 代表から話をお聞きました。

私たちの会は、会員が薦める本を毎月1冊、課題図書として会
員全員が読み、感動した点や学んだ点などを話し合い、本の素晴
らしさを共有しています。本を読むことによって、自然と文章を

書くことのできる力も身に付いていると思います。
会員を募集しています。皆さんも一緒に本を楽しみませんか。
活動日にお待ちしています。

町の文芸

二月短歌・俳句会
一戸町文化協会短歌・俳句部会
会場 小鳥谷地区公民館

短歌

友呼べばその夫出でしおだやかな
声の返りて心温もる
もまれつつ吹雪にしたがふ木々見えて
あるがままなるいのち清しき
雑音を吸い込むごとくひっそりと
今日も雪降る山峡の村
我なりにベスト尽せしその日々も
省みすれば悔いの数々
凍れる夜ストーブに寄り甘酒を
呑みつつ母は若き日語る
海までの道順問えば村人の
身ぶり手ぶりも詠りてやさし
ひとりととて壺の氷盛り上がり
ひたと音なく大寒に入る
夫買ひし除雪機動くこともなく
夫逝きし冬車庫を占めをり
ふくよかな女人菩薩志功展
母のみ胸に抱かる心地
指圧師はけがで仕事を閉ぢ賜ふ
九十三歳感謝は無限
被災地へダウン患らふ書家来たり
祈りを込めし「翔」と「龍」

俳句

野仏を裾野にくるみ山眠る
ベットには電気湯たんぽ思慕唯一
震災の話つきざる春炬燵
身をかく凍てつく道の一步なり
冬の墓綺麗をめでて造花挿す
細雪幽なりしやひとりの夕
鐘冴えて裸参りに少年も
銅犬に引かれて引いてチャンチャンコ
恙なく迎へし古希の春寒し
綿雪のゆっくり落ちる露天風呂

- | | | | | | | | | | |
|-----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|
| 柴田 | 岩淵 | 中館 | 高山 | 東山 | 柴田 | 中村 | 中村 | 女鹿 | 根反 |
| のぞみ | 良子 | 木実 | 満里 | 智子 | サヨ子 | のぶ | ちよ | 昌子 | 与之 |
| | | | | | | | | 昌子 | |
| | | | | | | | | 昌子 | |
| | | | | | | | | 昌子 | |
| | | | | | | | | 昌子 | |
| | | | | | | | | 昌子 | |
| | | | | | | | | 昌子 | |
| | | | | | | | | 昌子 | |
| | | | | | | | | 昌子 | |

※背景の模様は、柴田外男 広報編集委員 (中山大塚) がデザインしました。

運動公園だより

Sports

第9回サンビレ陸上記録会 参加者募集します！

「運動会の徒競走や陸上記録会の練習に！」
 「自己ベスト更新に挑戦したい！」
 「自分の体力を知りたい！」
 「陸上競技場で思いっきり走ってみたい！」という人にオススメのチャレンジ陸上記録会です。
 家族や仲間と交流を深めながらいい汗流しませんか？ たくさんのご参加お待ちしております♪

- 日時 4月22日(日) 13：30～16：30（受付：12：40～13：10）
 ■場所 総合運動公園 陸上競技場（サン・ビレッジ）
 ■対象者 老若男女・経験問わず参加できます。
 （これまでに3歳～60歳代の方々が参加しています）
 ■種目 【トラック種目】
 50 m、100 m、400 m、1,000 m、3,000 m
 【フィールド種目】
 立ち幅跳び、走幅跳、ジャベリックスロー（新種目）
 ■参加料 何種目参加しても300円（記録証、参加賞、施設使用料含む）
 ■申込み 申込締切4月19日(木)
 ※開催要項および申込書や歴代記録表が欲しい人は、運動公園
 までお問い合わせください。
 ■その他 ①記録会であるため順位による表彰はありません。
 ②小雨決行、荒天中止とします。
 ③運営補助（測定などの手伝い）をお願いする場合があります。
 ご理解とご協力をお願いします。
 ■主催 いちのへサンビレッジクラブ 二戸地区陸上競技協会



☎ 31-1400 休館日 4月16・23日、5月1・7・14日 開館時間 火～金 10：00～19：00、土・日 9：00～18：00

図書館だより

Books

『幸せになる百通りの方法』

荻原浩著、文藝春秋刊

本タイトル『幸せになる百通りの方法』の主人公・田中英雄は食べ物から仕事にと、成功に異様なこだわりをもっています。そんな彼が一人の女性に出会い心境の変化があり…。滑稽だけど、懸命に生きる人々の7つの短篇集です。

『ささえる医療へ』

村上智彦著、エイチエス刊

全国一の高齢化率、財政破綻のまち・夕張。著者・村上医師は、新たな地域医療の再生とまちづくりに取り組んで5年。「ささえる医療」について語っています。

今日は読書びより ～まちづくり～

『改訂版 世界遺産と地域再生 問われるまちづくり』

毛利和雄著、新泉社刊、2011年

2011年、「平泉」「小笠原諸島」が日本に新たに2件の世界遺産が登録されました。歴史遺産を活かしたまちづくりの取り組みが書かれています。

2011 岩手の読書週間標語 新たな岩手 読書でつなぐ 思いやり (平成23年度読書推進標語奨励賞作品)

ぶっくんコラム



ーパソコン利用についてー

利用者開放用端末パソコンの設定などを不正に変更している方がいます。不具合が生じ、あとの方が利用できません。図書館のパソコンは情報検索など「調査、研究」のためにご利用ください。
 なお、設定の変更が相次いだため、USBポートをふさぐことにしました。USBメモリは、ご自身の作成文章などの保存にご使用ください。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

4月の図書館展示コーナー

- 今月の展示コーナーは「子育て」
- こどもの本の特集は「学校生活」

4月のイベント

- おはなし会 4月14日(土) 10：30～
 場所：図書館内
 対象：幼児から小学生
- とことこおはなし会 4月20日(金) 10：45～
 「おはな」
 場所：地域子育て支援センターのびのび
 対象：0歳～3歳児
- としょかん映画会 4月28日(土) 11：00～
 「うずらちゃんのかくれんぼ」 約15分
 場所：町コミュニティセンター
 対象：幼児から小学生

総合保健福祉センターだより

Health

健診受けて、心も安心、体も安心

4月～5月にかけて行う町の健康診断（特定健診）を受診しましょう。

■町の特健健診の対象者は次の人です。

- 35～39歳、40～74歳の国保の人
- 75歳以上の後期高齢者

特定健診は、国から義務付けられた健診です。皆さんの健康維持を目的にして、平成24年度には、受診率が70%になることを目標にしています。

食べすぎ、飲みすぎ、運動不足、たばこなど、体に悪いと思っていても、「おいしいものを食べた〜い」「楽をした〜い」など、誘惑に打ち勝つのは、難しいものです。でも、長年のツケが体にたまってくるのは、これからです。さあ、「特定健診」を受けましょう。特定健診で体のチェックを行い、健康管理に努めましょう。特定健診は、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に注目した健康診断です。

※メタボリックシンドローム

内臓脂肪型肥満に加え、高血糖、高血圧、脂質異常の2つ以上を伴った状態。（1つを伴うと予備軍）

このままの状態を放置しておくと、心臓病、脳卒中、糖尿病およびその合併症など、重い病気を発生する危険があります。

※特定健診を受けて、メタボリックシンドローム、またはメタボリックシンドローム予備軍と判定されたら、特定保健指導（メタボ・ヘルスアップ教室）に参加し、健康を取り戻しましょう。

なお、特定健診を受診する時には、他の検診も併せて行います。

- 35歳以上の方は、大腸がん検診
- 40歳以上の方は、肺がん検診
- 50歳以上の方は、前立腺がん検診
- 65歳以上の方は、結核検診

各種検診を受け、健康管理に努め、今年1年元気に生活しましょう。

■保健カレンダー

- ・乳児・1歳児健診
 5月8日(火) 13:00～ 総合保健福祉センター
- ・ポリオ予防接種
 4月25日(水) 13:00～ 総合保健福祉センター
 5月2日(木) 13:00～ 総合保健福祉センター

- ・4月9日～5月12日まで肺がん、特定健診、大腸検診などを実施します。各健診会場などについては、3月の広報おしらせ版に掲載しています。

- ・助産師による妊婦・産婦・新生児の家庭訪問と栄養士による栄養相談・家庭訪問を行っています。
 ※詳しくは、総合保健福祉センターまで ☎ 32-3700

★保育施設開放★

保育施設の解放日については、広報のお知らせ欄、生涯学習カレンダー、子供の家保育園予定表を確認願います。
 ○開放時間 9：30～11：00

☎ 32-2652 休館日 4月16・23日、5月7・14日 開園時間 9：00～17：00 HP：http://www.town.ichinohe.iwate.jp/goshono

御所野縄文公園だより

※御所野遺跡は「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」として世界遺産登録を目指しています。

History

春の御所野縄文まつり

～御所野遺跡の世界遺産登録をめざして～

- 日時 5月4・5日 10：00～16：00
 （5日は、15：00まで）
- 会場 御所野縄文博物館

■ステージ発表の内容

- 4日…世界無形文化遺産「早池峰神楽」
 「八戸えんぶり」「阿仁根子番楽」
 「谷地鬼剣舞」など北東北の郷土芸能団体。
 - 5日…岩手出身のユニット「アンダーパス」のライブ
 一戸小金管バンド、こども民謡、コーラスまべち
- ※雨天時は、ステージ発表をコミュニティセンター行います。

5/4のイベント

世界無形文化遺産 早池峰神楽公演

参加費 無料

春の御所野縄文まつり

御所野遺跡の世界遺産登録をめざして

出演団体

- 早池峰神楽(花巻市)
- 八戸えんぶり(青森県八戸市)
- 阿仁根子番楽(秋田県阿仁町)
- 谷地鬼剣舞(北上市)
- 三ッ尻鹿踊り(岩手県)
- 柳沢鹿踊り(岩手県)
- 中山神楽(一戸町)
- 熊鷹神楽(二戸町)

ステージスケジュール

- 10:00 中山神楽
- 10:20 熊鷹神楽
- 10:40 柳沢鹿踊り
- 11:10 谷地鬼剣舞
- 11:40 三ッ尻鹿踊り
- 12:10 昼食
- 12:45 開会式
- 13:00 早池峰神楽
- 14:00 阿仁根子番楽
- 14:30 八戸えんぶり
- 15:00 終演

5/5のイベントは裏面へ!

日時 5/4(金)・5(土) 10:00～16:00(5日は15:00まで)

会場 御所野縄文公園

体験・出店コーナー 10:00～16:00

5/5のイベント 春の御所野縄文まつり

～御所野遺跡の世界遺産登録をめざして～

5/4(金)・5(土) 御所野縄文公園

二戸の子どもたちによる演奏!

アンダーパスライブ

出演団体

- アンダーパス
- 一戸小学校金管バンド
- こども民謡
- コーラスまべち

ステージスケジュール

- 10:00 一戸小学校金管バンド
- 10:30 こども民謡
- 11:00 アンダーパスライブ
- 12:00 昼食
- 13:00 コーラスまべち
- 13:30 アンダーパスライブ

体験・出店コーナー 10:00～15:00

家族みんなで楽しめる イベントがいっぱい!

- 動物ふれあいコーナー
- 飲食コーナー
- ふわふわ遊具コーナー
- ポニー乗馬体験
- フリーマーケット
- 縄文体験
- 特産品コーナー

平成 24 年度 一戸町職員人事異動のお知らせ

○平成 24 年 4 月 1 日付で発令
○氏名後の（ ）内は、前所属です。なお、課内異動の場合は、役職のみ記載。

▶総務部

○総務課

部長兼課長、選挙管理委員会事務局長併任 工藤誠
(教育次長兼生涯学習課長兼コミュニティセンター・図書館長兼中央公民館・一戸地区公民館長兼体育館長兼勤労青少年ホーム館長)

課長補佐、選挙管理委員会事務局長補佐併任 栗橋泰彦
(財政係長)

財政係長 武田昭彦 (まちづくり課主査)
主任 (大槌町派遣) 荒屋敷雅章 (主事)

○選挙管理委員会

選挙係長併任総務課管財係長 中村誠 (税務町民課主任)

○まちづくり課

課長 仁昌寺信一
(総務課長補佐、選挙管理委員会事務局長補佐併任)

主査 久保田太一 (税務町民課主任)

主事補 来田忍 (新採用)

○税務町民課

課長 江六前義則 (まちづくり課長)
課長補佐 (税務担当) 間下日出夫 (副主幹兼国保係長)

副主幹兼国保係長 片野優子 (主任)

主任 澤久保貴弘 (まちづくり課主事)

主事 田村肇 (健康福祉課主事)

主事 山本由佳 (産業課主事)

主事補 畑山知恵 (新採用)

▶福祉部

○健康福祉課

課長補佐兼地域包括支援センター所長兼総合保健福祉センター次長 下村慎悦 (副主幹兼主査兼まちづくり課主査)
主査 柴田忠幸 (二戸地区広域行政事務組合主査)
主査 (二戸地区広域行政事務組合派遣) 土屋邦雄 (税務町民課主任)

主任 田中泰士 (主事)

主事 宮守努

(税務町民課付主事 (岩手県後期高齢者医療広域連合派遣))

▶産業部

○産業課

課長補佐 (産業政策・商工観光担当) 野崎貞春 (課長補佐 (産業政策・商工観光担当)) 兼産業政策係長

課長補佐 (林務・畜産・農村整備担当) 兼林務係長 村中昭一 (選挙管理委員会選挙係長、総務課管財係長併任)

産業政策係長 篠畑恵司 (主任)

主任 田中桂介 (主事)

主事補 田村香織 (新採用)

▶建設部

○水環境課

部長兼課長 片野修 (課長)

主任 山火清明 (主事)

主事 工藤直幸 (主事補)

○地域整備課

課長 長山哲也

(健康福祉課長補佐兼地域包括支援センター所長兼総合保健福祉センター次長)

課長補佐 (都市計画街路・建築住宅担当)、世界遺産登録推進室副主幹併任 小倉浩二

(税務町民課長補佐 (税務担当))

主任技師 清水栄二 (技師)

▶教育委員会

○生涯学習課

課長兼中央公民館・一戸地区公民館長兼体育館長 畠山保夫 (税務町民課長)

課長補佐兼コミュニティセンター・図書館長補佐兼中央公民館・一戸地区公民館係長兼生涯学習係長兼文化係長兼勤労青少年ホーム係長

上里透

(課長補佐兼コミュニティセンター・図書館長補佐兼中央公民館・一戸地区公民館係長兼生涯学習係長兼文化係長兼勤労青少年ホーム係長)

主事 石倉徹 (主事補)

主事 西村美香 (新採用)

中央公民館主事 赤平武毅 (主事兼勤労青少年ホーム主事)

○学校教育課

技師 東いづみ (技師補)

○世界遺産登録推進室

文化財主事兼御所野縄文博物館学芸員 菅野紀子 (新採用)

○奥中山地区公民館

主任、奥中山支所主任併任 昆守 (支所主任、地区公民館主任併任)

▶農業委員会

事務局長補佐 海外哲雄

(産業課長補佐 (林務・畜産・農村整備担当) 兼林務係長)

▶出先機関

○鳥海保育所

副主幹兼所長代理 大和田留吏子 (奥中山保育所主任保育士)

○小鳥谷保育所

主任保育士 松田景子 (鳥海保育所主任保育士)

○奥中山保育所

主任保育士 高田美穂 (小鳥谷保育所主任保育士)

▶退職

坂本光男 建設部長兼地域整備課長

総務部長兼総務課長

＝選挙管理委員会事務局長併任

帯長基宏 地域整備課長補佐 (都市計画街路・建築住宅担当)

＝世界遺産登録推進室副主幹併任

土岐良輔 農業委員会事務局長補佐

教育委員会食育センター主任調理員

新採用職員（一般職 3 人、専門職 2 人）を紹介します。

	らいでんしのぶ 来田忍 28 歳 来田地区出身 生まれ育った一戸を より活気ある街にし て、子どもたちにパ トタッチできるよ う頑張ります。		たむらかおり 田村香織 27 歳 鳥越地区出身 一戸町のために、一 生懸命頑張ります ので、よろしく願 います。		かんののりこ 菅野紀子 32 歳 紫波町出身 一戸町のいろい ろなことを知り、学 んでいきたいと思 います。どうぞよろ しくお願いします。						
	はたやまともえ 畑山知恵 23 歳 二戸市出身 職務を通じて多く を学び、一戸町のため に頑張りたいと思 います。よろしく お願いします。		にしむらみか 西村美香 36 歳 滝沢村出身 町技なぎなたの普 及と 2016 年国体成 功を目指し活動し ます。よろしく願 います。	<table><tr><th>氏名</th><th>年齢</th></tr><tr><td colspan="2">出身地</td></tr><tr><td colspan="2">町の皆さんへ 一言</td></tr></table>		氏名	年齢	出身地		町の皆さんへ 一言	
氏名	年齢										
出身地											
町の皆さんへ 一言											

二戸消防署だより Life

野焼き、たき火に注意しましょう

春は山火事の多い季節です。山火事のほとんどは、人為的な原因です。たき火の放置や風の強いときの土手の草焼き、タバコの投げ捨てなどが原因となっています。

1. 「たき火をしたら火が消えるまでその場を離れない
炎が見えなくなっても小さな火種から燃え上がることがあります。

2. 「土手の草焼きに注意」
風の強い日の土手焼きは行わない。

3. 「タバコの投げ捨てをしない」
山菜採りの方のタバコが原因と思われる火災も発生しています。

その場を離れるときには、かならず水や土をかけるなどして火の消えたことを確認しましょう。なお、火災と見間違えるくらいの煙などの発生が予想される場合には、事前に「火災とまぎらわしい煙、炎の発生するおそれの届け出」をしてください。



一戸交番 ☎ 33-3059

一戸交番だより police

野外焼却は原則として禁止されています

例年春先になると、廃棄物を野外で焼却する人の姿が見られるようになります。しかし、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により、野外焼却は原則として禁止となっています。

罰則は、5 年以下の懲役
または 1,000 万円以下の罰金。

昨年は、二戸警察署管内で 5 月～9 月の間に 5 件の違法な野外焼却が見つかっています。

例外として野外焼却が認められるものは

- ・法令に基づく焼却
- ・風俗習慣上の行事のための焼却
- ・農林漁業のためのやむを得ない焼却
- ・学校教育などのための焼却
- ・落ち葉の焼却やその他の軽微な焼却

※上記の場合であってもタイヤ、ビニール、プラスチック類、家庭ごみは焼却禁止です。

県立一戸病院だより Hospital

診療案内

- * 新患受付時間 8：30～11：30
- * 再来受付時間 6：30～11：30(自動受付機)
- * 表の○は診療、空欄は診療がありません。
- * 午後は一部診療科を除き、各診療科とも入院診療・検査・手術などの対応です。
- * 診療日が変更となる場合がありますのでご了承ください。確認は院内掲示板または各診療科にお問い合わせください。
- * 休診日は、土・日・祝日・年末年始。
- * 急患はいつでも対応します。

外来診療表 (平成 24 年 4 月 1 日現在)

※ () は、医師の所属病院

区 分	月	火	水	木	金	備 考
内 科	午前	○	○	○	○	
循環器内科	午前			○		(岩手医大)
	午後		○			(二戸病院) 予約患者のみ
腎臓内科	午後	第 1 月曜日のみ				(中央病院) 毎月 1 回の診療 予約患者のみ
神経内科	午前		○			(二戸病院)
外 科	午前	○	○	○	○	月～金 (岩手医大) 金 (二戸病院)
整形外科	午前	○	○	○	○	月、木、金 (岩手医大)
泌尿器科	午前	○	○	○	○	
皮膚科	午前	○		○		(岩手医大)
精神科	午前	○	○	○	○	
	午後	○	○	○	○	
小児科	午後	○	○	乳児健診または 予防接種	慢性疾患 外来	午後の受付は 15：30 まで
耳鼻いんこう科	午前	○	○	○	○	診療は予約制
	午後	○	○	○	○	
婦人科	午前		○			診療は 10：00 から

水環境課 ☎ 33-2111 内線 226

水環境課だより Living

ごみ減量にご協力をお願いします！

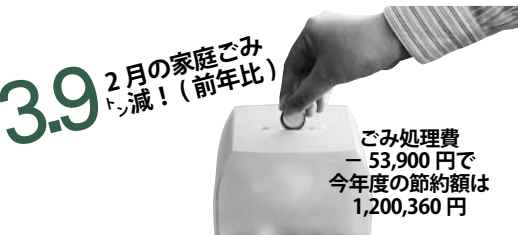
◆もったいない・いちのへ運動第 1 弾

これまで燃えるごみとして処理していた、不要な衣類を古着業者と町が協力して回収する試みを始めます。まず、保育所に通っている皆さんを対象に、町立保育所で回収を始めます。その他、子ども会や町内で資源回収を実施する場合、衣類も補助の対象とします。今後、持ち込む場所を順次拡充します。

■ H23 年度資源ごみ回収補助金の交付状況について

資源ごみの回収をした団体に資源ごみ回収補助金を交付しています。平成 23 年度では、約 85 トンの資源ごみが回収され、29 団体に 426,780 円の補助金を交付し、最も多いところでは、合計 57,500 円の交付を受けた団体もあります。

町内のごみ減量と資源の有効利用にご協力いただきましてありがとうございました。
引き続き 24 年度も、この補助金は継続します。
新たに資源ごみの回収を考えている町内会などは、水環境課までご相談ください。



※処理費用を 10kg あたり 140 円で試算しています。



お手元に固定資産税の納付書が入った封筒が届きましたら、宛名を確認したうえで開封をお願いします。
納税金額を確認し、それぞれの納期までに納付してください。

平成二十四年度は、固定資産税の評価替えの年です。

固定資産税は、毎年一月一日に固定資産（土地・家屋など）を所有する方に対して、その評価額をもとに算定された税額が課される税金です。

評価額は、地価や物価の変動を考慮した適正な価格に見直すため、三年ごとに固定資産評価基準に基づき評価替えを行います。平成二十四年度は評価替えの年となっております。今回見直された評価額は、原則として平成二十六年まで据え置かれます。

見直し後の評価額については、平成二十四年四月中旬に送付する納税通知書・課税明細書をご確認ください。

○土地の評価替え

土地の評価替えは「固定資産評価基準」に基づき、地目ごとに定められた方法により

表、両親などが出席しました。
ゴックさんのすばらしいあ
いさつに逸材の片鱗を垣間見
ることができました。懇親会
も『北国の春』で盛り上がり、
両国の友好ムードも一気に高
まった感がありました。

○十月二十二日

眼鏡の贈呈式は、十月二十二日ホーチミン市内にあるベトナム赤十字社において行われ、国と市の赤十字代表が休日返上で出席してくださいました。出国前、日本ソールングのベトナム実習生の皆さんも眼鏡の洗浄・消毒作業を引受け一役を担いました。ホーチミン空港の検査に「言葉の壁」が立ちほだかり、やっと持ち込んだ二百九十個の眼鏡でしたが、晴れて下田和夫会長から赤十字の代表へ贈呈されました。

次の代表へ贈呈されました。
次いで稲葉町長（岩手県町村会会長）が、大震災・津波におけるベトナム国からの支援に感謝の言葉を述べました。

○十月二十三日

十月二十三日、ベトナム北部のベツチ市で行われた帰国研修生との懇談会は、子どもたちも加わり当初予想をはるかに超える六十人ほどの大盛会となりました。

ベトナム国は、平均年齢が二十七歳ほどで、高齢者を見かけるのは本当にまれです。路上に溢れるバイクの多さに驚きとともに底知れぬパワーさえ感じました。また、メコン川やハロン湾（世界遺産）のクルーズも参加した皆さんにとって忘れえぬ思い出となったものと思います。

今回の旅行は、一戸町国際交流協会の「手作り」のものでしたが、ベトナム帰国研修生との感激の再会や、医学留学生の確保に道筋ができたこと、目標を大幅に上回る眼鏡の寄付協力者など、多くの成果を上げることができました。

所期のねらいは充分達せられたものと今回の研修旅行にご協力いただきました関係各位に厚く御礼を申し上げます。

町の皆さんの協力で、福祉施設へ眼鏡の寄贈などことができました。

昨年10月、2011年ベトナム研修旅行（一戸町国際交流協会主催）が行われ、町内外から10人が参加しました。
旅行のねらいは次の3つです。

- ①一戸町内で働き帰国したベトナム研修生との再会
 - ②ベトナム福祉施設へ町の皆さんから寄付いただいた眼鏡を寄贈
 - ③一戸町で進めている「ベトナムからの医師確保の取り組み」への協力
- 以下、研修の概要を報告します。



行います。また、宅地については、平成二十三年七月一日を価格調査の基準日として、地価公示価格や不動産鑑定士による鑑定価格の七割を目途に、評価額の基準となる価格を見直し、評価の均衡化と適正化を図ります。

住宅用地の負担水準の調整措置

課税の公平性を確保する観点から、地域によりばらつきのある負担水準（評価額に対する前年度課税標準額の割合）を均衡化させることを重視した税負担の調整措置のことで、税負担を段階的に上昇させることによって、負担水準のばらつきの幅を狭めていきます。

平成二十三年度、一戸町では負担水準が七十～八十五割の住宅用地が多く、負担水準

が九十割未満の住宅用地について、経過的な措置として平成二十四年度から二十五年度の間は九十割に達するまで、五割ずつ税負担を上昇させていきます。

地価が下落しているにもかかわらず、税額が上昇する場合があるのは、この負担水準の調整措置によるものです。

地方税法の改正により平成二十四年度は九十割未満の住宅用地について調整措置を行います。（平成二十三年度までは八十割未満の住宅用地）

○家屋の評価替え

家屋についても、「固定資産評価基準」に基づき、再建築価格を基準とした評価を行います。再建築価格とは、今、同じ建物を新築した場合にかかる建築費のことです。

平成二十三年一月一日以前に建築された家屋は、前年度の再建築価格に、建築物価の動向（再建築費評価点補正率）や古くなったことによる減価分（経年減点補正率）を考慮して算出された再建築価格を基準として評価替えを行います。

建築物価は、前回の評価替え時に比較して、木造で一割、非木造で四割の下落となっています。また、古くなったことによる減価は、一般的な木造住宅で二十年、鉄骨造住宅で四十年を経過すると、再建築価格の二十割に据え置かれるため、家屋が存在する限りは評価額がゼロにはなりません。

平成二十三年一月二日以降に建築された家屋は、新しい固定資産評価基準により再建築価格を算出します。

数字で見る一戸町

Ichinohe

町の"今"を数字で見ます



まちの
お知らせ
ひろば

☎=問合せ、申込み先

※数字はすべて2月分です

事故

人身事故	1件	(前月2件)
死者	0人	(前月0人)
傷者	1人	(前月2人)

物損事故	19件	(前月17件)
------	-----	---------

犯罪

刑法犯総数	4件	(前月2件)
うち侵入窃盗	0件	(前月1件)
うち乗物盗	0件	(前月0件)
うち非侵入窃盗	3件	(前月1件)

火災・救急

火災	1件	(前月1件)
救急	69件	(前月119件)

急患

時間内	14件	(前月23件)
時間外	275件	(前月317件)

ごみ

排出量	228トﾝ	(前月263トﾝ)
町民1人1日	407㌒	(461㌒)

人の動き

人口	14,280人	(－10人)
男	6,866人	(－7人)
女	7,414人	(－3人)
世帯数	5,784世帯	(±0世帯)
転入	17人	(31人)
転出	14人	(29人)
出生	6人	(13人)
死亡	19人	(35人)

※転入・転出・死亡は1月からの累計

お知らせ

軽自動車税・固定資産税の減免について

下記に該当する人は、期限までに税務町民課へ提出してください。

- 軽自動車税の減免対象**
身体などの障がいがある方で、歩行が困難な方が所有する軽自動車・常時介護する者が運転する軽自動車
- 固定資産税の減免対象**
貧困により生活のため公私の扶助を受ける方が所有する固定資産、または公民館・集会所、消防屯所など
- 申請期限** 4月24日(火)
- その他**
減免申請書に納税通知書(軽自動車税の場合は運転免許証、障がい者手帳)を添えて税務町民課へ提出してください。

☎税務町民課 ☎33-2111 内線124

公衆用道路の非課税扱いについて

所有している土地が公衆用道路として使用されている場合、状況により固定資産税が非課税となることがあります。該当する土地をお持ちの方は、下記まで連絡してください。

☎税務町民課 ☎33-2111 内線124

株式会社一戸芝浦電子へ社名変更しました

岩館地区にある(株)野田製作所は、3月2日に会社名を変更しました。新会社名は「株式会社一戸芝浦電子」です。1979年から創業し、これまでの32年間一戸町で企業活動してきました。町名の『一戸』と、親会社である株式会社芝浦電子の『芝浦電子』をいただき「株式会社一戸芝浦電子」としました。これからも地域活性化にお役立てできるように従業員一同頑張っていきますので、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

☎株式会社一戸芝浦電子 ☎33-4315
一戸町岩館字沢田24-1

春のクリーンデー

- 縄文公園内の清掃作業を行います。御所野遺跡に興味のある人、ボランティア活動してみたい人など、どなたでも参加できます。終了後には昼食が出ますので、お楽しみに♪たくさん参加をお待ちしています。
 - 日時** 4月22日(日) 9:30～12:00 (縄文博物館に9:00集合)
 - 場所** 御所野縄文公園
 - その他**
 - 軍手を持参し、汚れてもよい服装でお越しください。
 - 雨天中止となります。(小雨決行)
- ☎御所野縄文博物館 ☎32-2652

太陽光発電の補助金を開始します

町では4月1日から、国の補助金の交付を受けて住宅用太陽光発電システムを設置した人に、1kWあたり3万円(上限9万円)の補助金を交付します。交付を希望される人は、下記までお問い合わせください。

- 補助対象者**
次のいずれにも該当する者。
 - ①町内に住所を有する者または住所を有する見込みの者
 - ②平成24年4月1日以降に国の補助金交付決定通知書を受理した者
 - ③町税の滞納その他町に対する債務の不履行がない者
- 補助対象事業**
町内の住宅(店舗兼住宅を含む)に新規に設置する太陽光発電システムで、次のいずれにも該当するもの。
 - ①太陽電池の最大出力が10kW未満であるもの
 - ②国補助事業に定められた性能および安全性などの技術的仕様を満たすもの
 - ③未使用品であるもの

- 補助金額**
太陽電池の最大出力1kWあたり3万円(上限9万円)。千円未満は切り捨て。
 - 申請方法**
国の補助金交付決定通知書を受理してから2カ月以内に、まちづくり課に備え置いている補助金交付申請書に記載のうえ、必要書類を添付して提出してください。(申請書は、HPに掲載予定です)
- ☎まちづくり課 ☎33-2111 内線213

抗体保有率の低い年齢層のポリオワクチンの追加接種について

- 厚生労働省の調査で、昭和50年から昭和52年に生まれた人は、他の年齢層に比べてポリオの免疫を保有している割合が低いことが明らかになりました。この期間に生まれた人が、ポリオの発生が多発しているアフリカや東南アジアなどに渡航される場合や自分のお子さまがポリオワクチンの接種を受ける際に感染する危険性が高いと考えられるため、再度ポリオワクチンの追加接種を受けられることをお勧めします。
- 対象者** 昭和50年1月1日～昭和52年3月31日までの出生者のうち追加接種希望者(ただし、すでに追加接種された人は除く)
 - 料金** 無料
 - 日時** 4月25日(水)、5月2日(水) 13時～13時20分
※当日は、お子さまの接種者と一緒にいくことになります。
 - 場所** 総合保健福祉センター
※接種後に30分間状態観察してから帰宅していただきます。
 - 申込み** 事前に下記問い合わせ先までお申し込みください。
※接種希望者には、後日予診票および説明書を送付します。
 - その他**
 - ①当日医師の診断により投与を受けられない場合(下痢・発熱など)もありますので、健康に注意して受けるようにしてください。
 - ②他の生ワクチン(麻しん・風しん・BCGワクチンなど)の接種を受けた後1カ月を経過していない方は受けられません。
 - ③この予防接種は、予防接種法に基づくものではなく、希望者に実施するものです。
- ☎健康福祉課 保健班 ☎32-3700 内線613

グリーンボランティアを募集しています

- 県では、自然公園、自然環境保全地域において、利用者へのマナーを指導する自然保護活動にご協力いただけるボランティアを募集しています。随時、応募を受け付けていますので、皆さまのご協力をお願いします。
- 活動地域**
 - 国定公園 早池峰、栗駒(須川、焼石)
 - 県立自然公園 花巻温泉郷、久慈平庭、外山早坂高原、湯田温泉峡、折爪馬仙峡、五葉山、室根高原
 - 自然環境保全地域 琴畑湿原、松森山、荒川高原、宇霊羅山、滝観洞、区界高原、大洞カルスト、蓬萊山、青松葉山、櫃取湿原、和山湿原、春子谷地
 - 応募資格**
県内在住の18歳以上で、自然保護および利用指導のために意欲を持って活動に従事できる人
 - 応募方法**
はがき、FAX、メールにより次の事項を記入のうえ応募してください。
 - ①郵便番号、②住所、③氏名(ふりがな)、④生年月日、⑤電話番号、⑥職業
 - ⑦活動地域(複数選択可)
 - 応募先**
〒020-8570 盛岡市内丸10番1号
岩手県 環境生活部 自然保護課 自然公園担当あて
【FAX】019-629-5379 【メール】FA0031@pref.iwate.jp
☎岩手県 環境生活部 自然保護課 ☎019-629-5374

町民割引券について

奥中山高原温泉と来田保養センターでは、まちの皆さんが利用しやすいよう、右の割引券を発行します。点線で切り取り、ご利用の際にフロントなどに提出すれば右記の料金になりますので、ぜひご利用ください。



奥中山高原・来田温泉 町民割引券

(広報4月号—H24.5.31まで有効)		
この券で、下記の温泉の日帰り入浴(入浴のみ)を割引金額でご利用できます。 ※本券1枚につき1人有効。		
おとな	◇煌星の湯 600→500円	◇朝朱の湯 500→400円
こども	300→250円	250→200円
◇来田保養センター		
70歳以上	300→250円	
70歳未満	400→350円	
小学生	200→150円	

戸籍だより

- (2月届出分)
- ☆お誕生おめでとう
- | 名前 | 保護者 | 住所 |
|-------|--------|--------|
| 加藤 愛菜 | 俊寛・里菜 | 一戸小井田 |
| 柴田 芽吹 | 信弘・亜希 | 鳥越字過利石 |
| 野中 陽翔 | 信幸・貴子 | 小鳥谷穴久保 |
| 小館 一輝 | 正晃・恵梨香 | 楠山小木田 |
- ♡結婚おめでとう
- | 名前 | 住所 |
|---------|--------|
| 村里 義彦 | 月館稲荷前田 |
| 大崎 奈穂子 | 九戸村 |
| 柴田 亮 | 鳥越悪戸平 |
| 八重樫 祐季奈 | 盛岡市 |

- ごめい福をお祈りします
- | 名前 | 住所 | 年齢 |
|--------|--------|-----|
| 白木 ミネ | 岩館馬場平 | 96 |
| 岩渕 正 | 一戸小井田 | 84 |
| 中村 啓子 | 楠山双畑 | 51 |
| 駒木 トモ | 高善寺古館平 | 86 |
| 金石 ハル | 中山小稲荷 | 95 |
| 大釜 輝子 | 一戸北館 | 81 |
| 吉田 一二 | 楠山茶屋場 | 72 |
| 赤畑 定治 | 平糠東 | 92 |
| 小西 シケ | 中山小稲荷 | 97 |
| 瀧澤 竹美 | 小鳥谷野里 | 73 |
| 上山 タキ | 奥中山西田子 | 90 |
| 柴田 コマツ | 鳥越悪戸平 | 100 |
| 野中 喜七 | 小鳥谷野中 | 83 |
- (敬称略)

※広報への掲載を希望しない方は、届出の際に戸籍係にお申し出ください。

奥中山高原・来田温泉 町民割引券

(広報4月号—H24.5.31まで有効)		
この券で、下記の温泉の日帰り入浴(入浴のみ)を割引金額でご利用できます。 ※本券1枚につき1人有効。		
おとな	◇煌星の湯 600→500円	◇朝朱の湯 500→400円
こども	300→250円	250→200円
◇来田保養センター		
70歳以上	300→250円	
70歳未満	400→350円	
小学生	200→150円	

